
登別市こどもの生活に関するアンケート
(小 5～中 3 こども用)
報告書

令和 6 年 1 0 月

登別市

I 調査概要

1. 調査目的

本調査は、市民の皆様の日ごろの生活や子育てに対するご要望・ご意見、ニーズ、子育て世帯の生活状況等について把握し、令和6年度に策定することも計画の基礎資料とすることを目的として実施しました。

2. 調査地域

登別市内

3. 調査対象者

登別市在住のすべての小学5年生～中学3年生の子ども

4. 調査方法

小中学校での直接配布及びWEB 回答による無記名回答方式

5. 調査期間

令和6年8月～9月

6. 対象者数・回収状況等

調査種類	対象者数	web 回答数	有効回答率
小学5年生～中学3年生 子ども用アンケート	1,572	689	43.8%

7. 集計上の留意点

①グラフ中の「N=」は、母数となるサンプル数(保護者の回答者数)を示しています。

②複数回答の設問は、すべての構成比(%)を合計すると100%を超える場合があります。

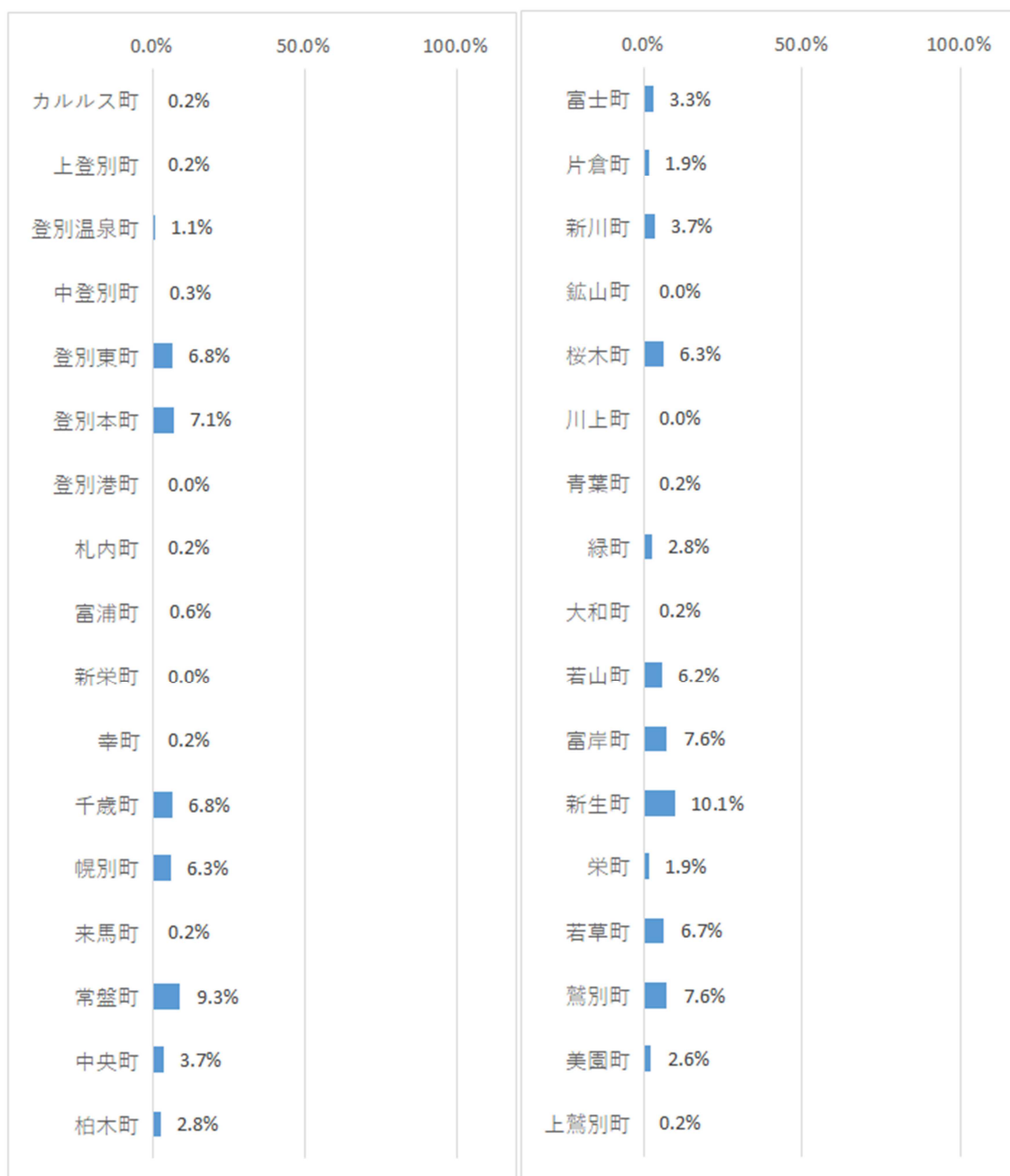
Ⅱ 調査結果

基本事項

お住まいの町名をひとつ選んでください。(問2)

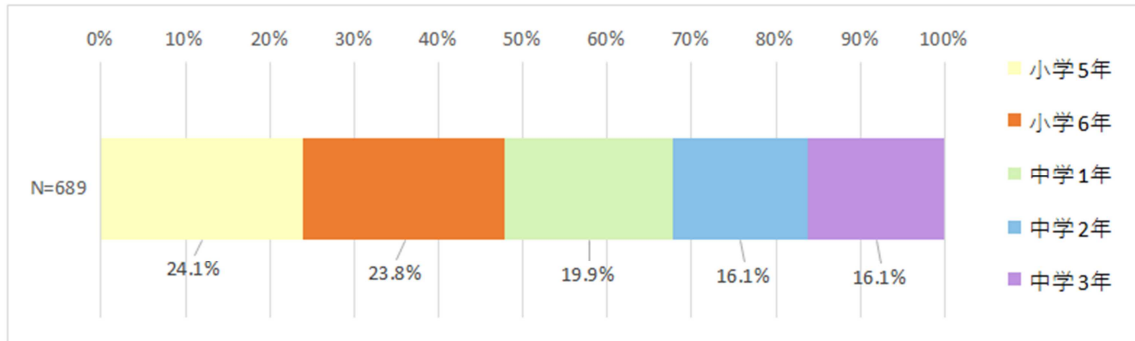
居住地区についてみると、「新生町」が10.2%と最も高く、次いで「常盤町」が9.3%、「富岸町」「鷺別町」が7.6%となっています。

N=689



あなたの学年を1つ選んでください。(問3)

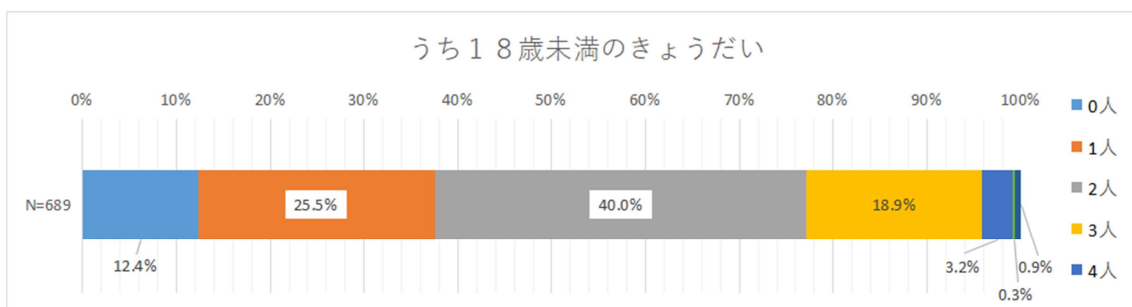
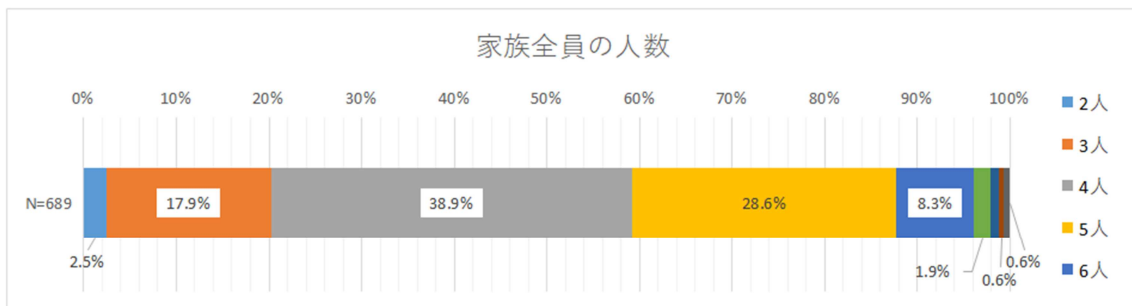
回答者の学年についてみると、「小学 5 年」が 24.1%で最も多く、次いで「小学 6 年」が 23.8%となっています。



あなたの家族の人数を入力してください。(問 4)

回答者の家族全員の人数についてみると、「4人」が 38.9%と最も高く、次いで「5人」が 28.6%、「3人」が17.9%となっています。

18歳未満のきょうだいの数についてみると、「2人」が 40.0%と最も高く、次いで「1人」が 25.5%、「3人」が 18.9%となっています。

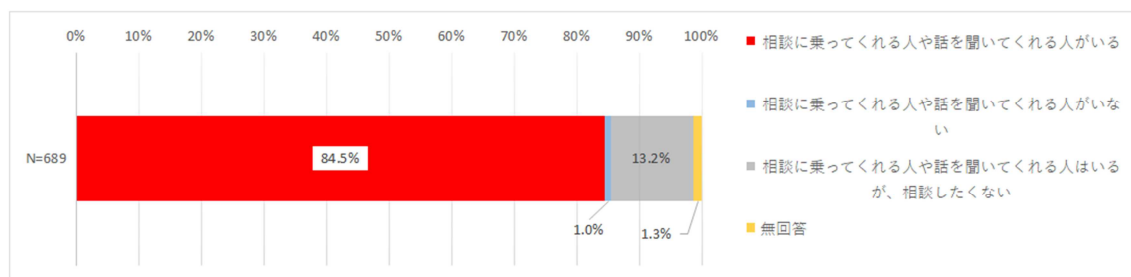


困りごとや悩みの相談について

現在、あなたが持っている困りごとや悩みについて、相談にのってくれたり、話を聞いてくれる人がまわりにいますか。(問5)

困りごとや悩みについて相談できる人についてみると、84.5%が「相談に乗ってくれる人や話を聞いてくれる人が居る」と回答しています。

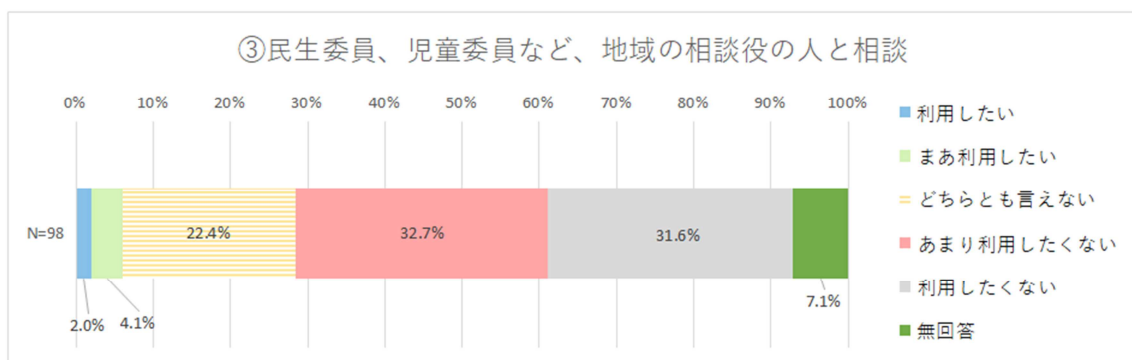
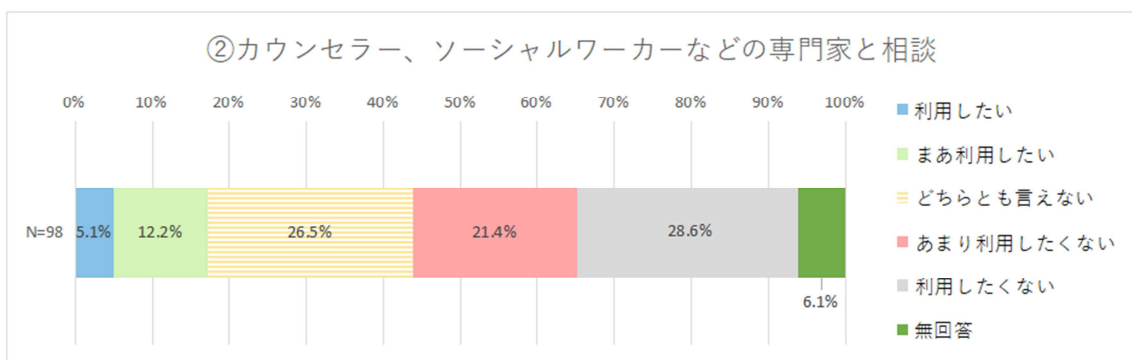
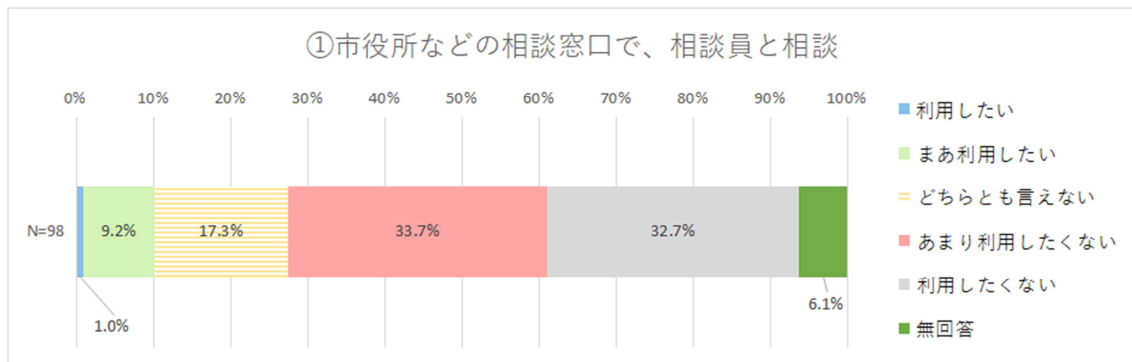
また、13.2%が「相談に乗ってくれる人や話を聞いてくれる人はいるが、相談したくない」と回答しています。



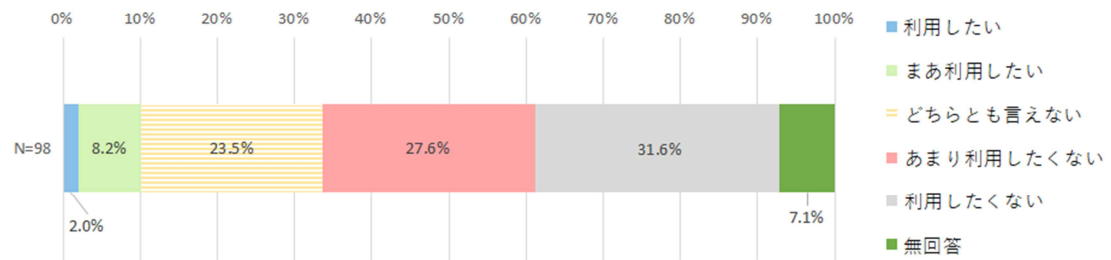
※問 5 で、「2 相談する人がいない」「3 相談したくない」を選んだ方にお聞きします。

市では、あなたの困りごとや悩みを相談できる、いろいろな窓口を紹介しています。
次のような窓口を紹介した場合、利用したいと思いますか。それぞれあてはまるものを選んでください。(問 5-1)

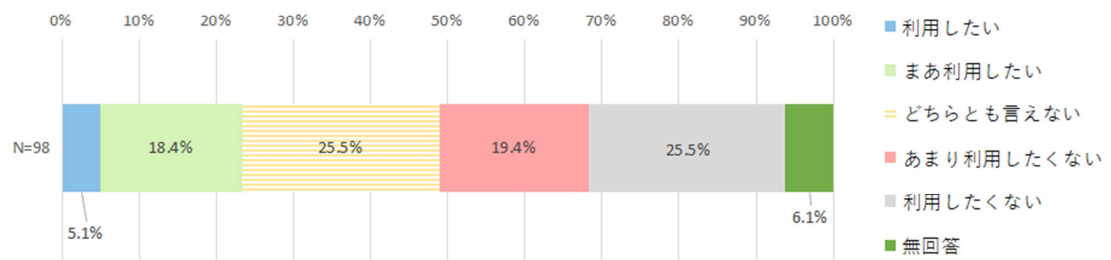
「相談する人がいない」「相談したくない」という人に対する各種相談窓口の利用意向については、①～④のような、相談員等との対面での相談では「あまり利用したくない」「利用したくない」の割合が高くなる傾向が見られる一方で、⑤電話やネットでの相談、⑥LINE やメッセージなどの SNS を使用した相談については、「利用したい」「まあ利用したい」の割合が、①～④に比較して高くなる傾向が見られます。



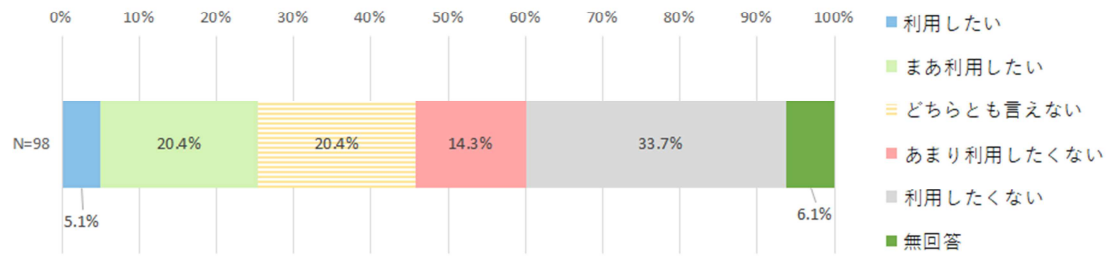
④民間の相談センターの人と相談



⑤こども専用の電話・ネット相談などの相談窓口で相談



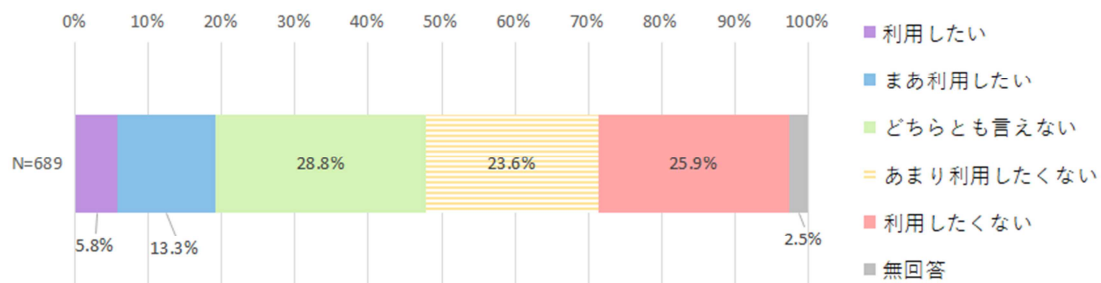
⑥LINEやメッセージャーなどのSNSを使用した相談



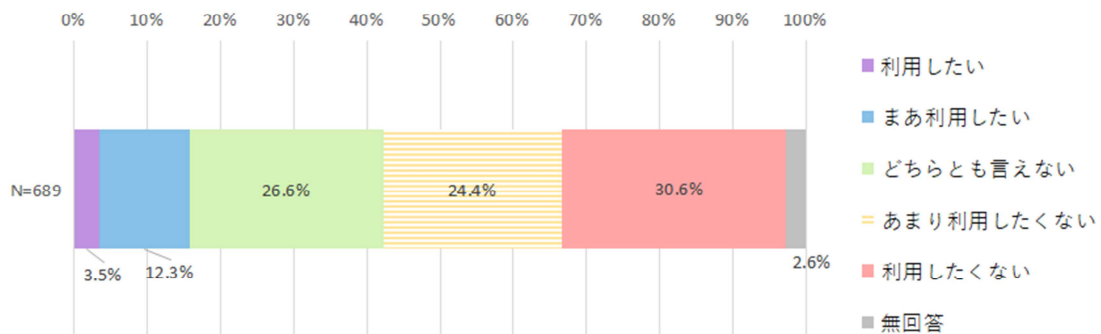
あなたが相談しやすいと思う「相談窓口の形」は、どのようなものですか。(問6)

相談しやすい窓口の形についてみると、「①相談窓口にあなたが出かけて行く、対面での相談」「②相談窓口の担当者があなたのもとを訪問しておこなう、対面での相談」においては、「あまり利用したくない」「利用したくない」の割合が高くなっていますが、「③相談窓口の担当者との、電話での相談」「④相談窓口で開設している、インターネットの相談サイトでのメールによる相談」「⑤相談窓口で開設している、LINE やメッセージなどの SNS を使用した相談」では「利用したい」「まあ利用したい」と、「あまり利用したくない」「利用したくない」の割合が拮抗する結果となっています。

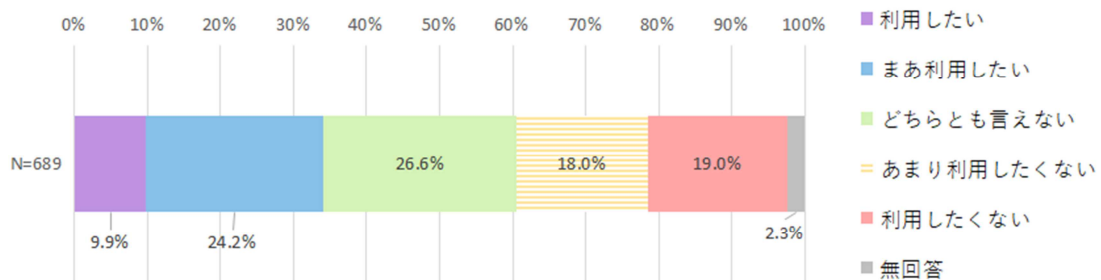
①相談窓口にあなたが出かけて行く、対面での相談

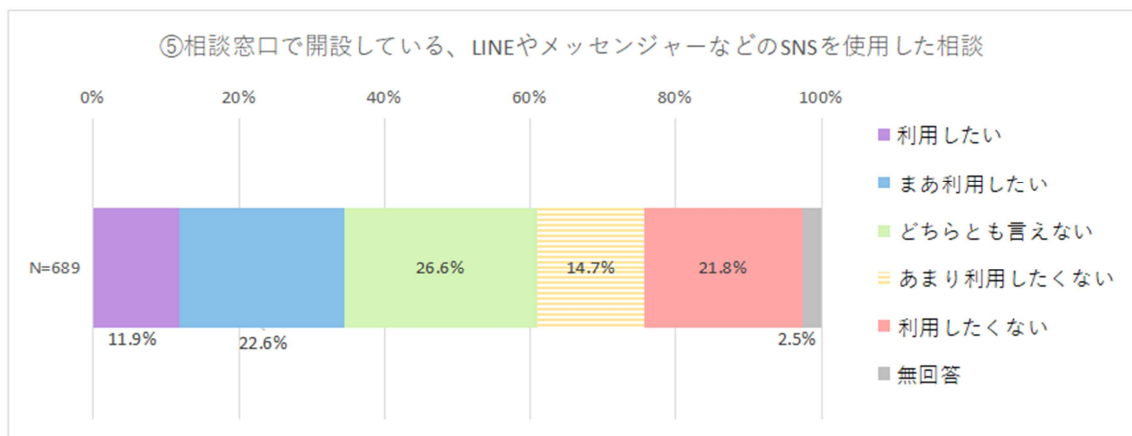
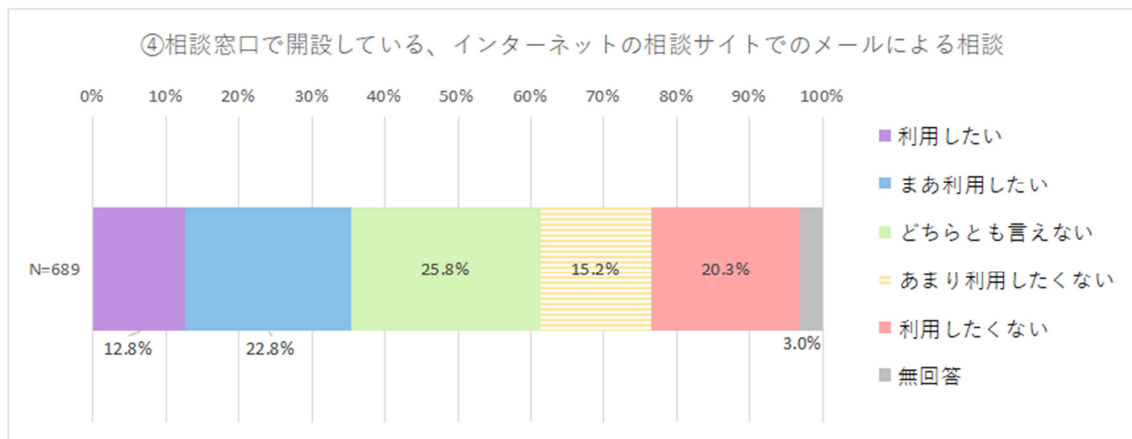


②相談窓口の担当者があなたのもとを訪問しておこなう、対面での相談



③相談窓口の担当者との、電話での相談





「⑥その他(自由記載)」の回答

相談窓口到手紙をおくる

親や友達にそうだんする

進んで相談できる場所などがより増えていったらいいと思う。

対面せずに行う相談。

気軽に話することができる相談

学校の先生や友人などに相談する

インターネット上ではなく、相手と実際に合ってする相談

知らない人と個人的な悩みを話したくない。家族や信頼できる人にしたいから

相談窓口の担当者とのカフェなどにお互いが出かける対面での相談

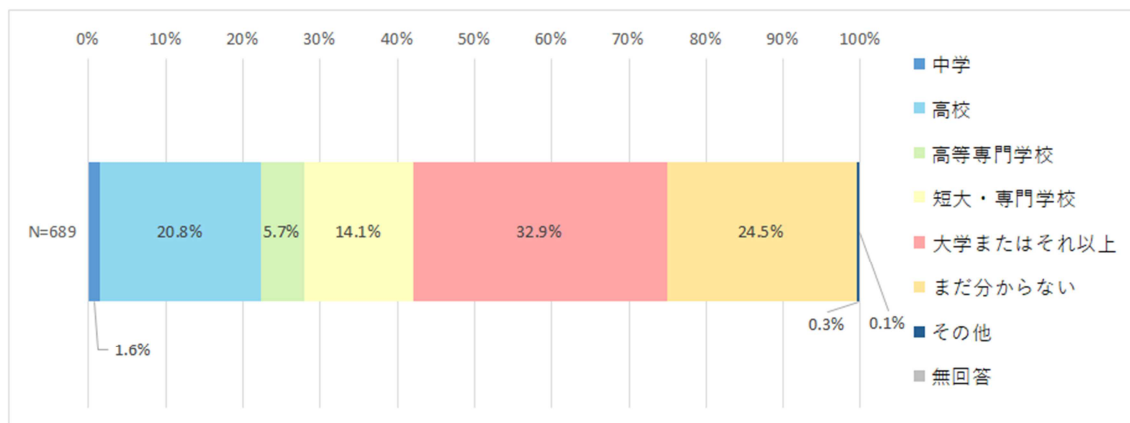
家族や友達や先生など知ってる人と相談したい

電話での相談

教育に関することについて

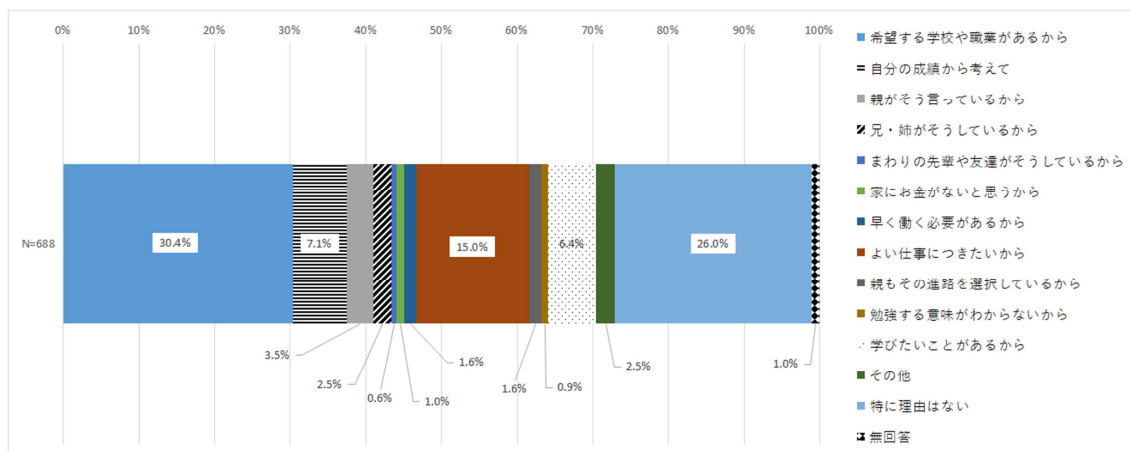
あなたは将来、どの段階まで教育を受けたいですか。(問7)

どの段階まで教育を受けたいかについてみると、「大学またはそれ以上」が32.9%と最も高く、次いで「まだわからない」が24.5%、「高校」が20.8%となっています。



その理由を教えてください。(問8)

教育段階の希望理由としては、「希望する学校や職業があるから」が30.4%と最も高く、次いで、「特に理由はない」が26.0%、「良い仕事につきたいから」が15.0%となっています。



「その他(自由記載)」の回答

(高校)高校の時からスカウトされてサッカーの選手になりたいから

(高校)自分が何をしたいかわからないから

(高校)中学で卒業より高校で卒業のほうが稼げると思ったから。

(高専)家族が安心して暮らせる金額だから 自分が好きだったものを作りたいと感じたから

(大学)将来の夢を、なるべく叶えたいから。

(大学)大卒のほうが給料が良いから

(大学)お母さんが大学に行っていて、とても楽しいところだと言っていたので自分も行ってみたいと思ったからです。

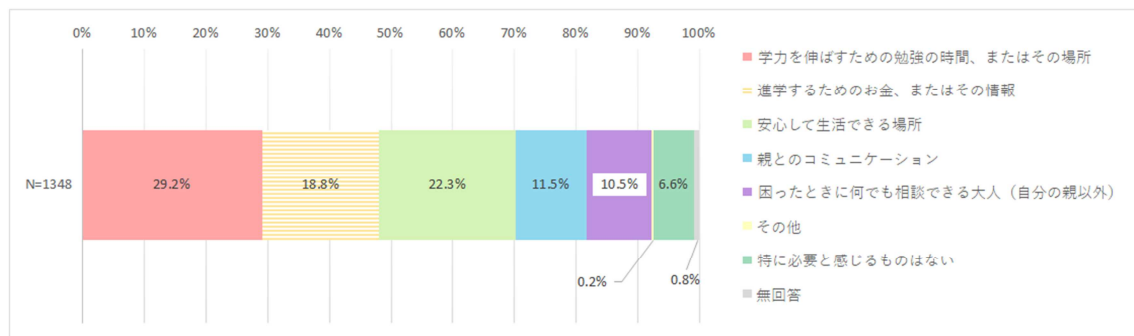
(不明)進路が明確に定まっていないため

(不明)将来の夢がまだ決まってないから。

(不明)まだ今思っているなりたいもの以外にもこれからなりたいものが出てくるかもしれないから

あなたが受けた教育の段階(またはそれ以上の段階)に進むために、必要だ(あったらいいな)と思うことは何ですか。(問9)

希望する教育段階に進むために必要なこととしては、「学力を伸ばすための勉強の時間、またはその場所」が 29.2%と最も高く、「安心して生活できる場所」が 22.3%、「進学するためのお金、またはその情報」が 18.8%となっています。



「その他(自由記載)」の回答

将来の夢への時間

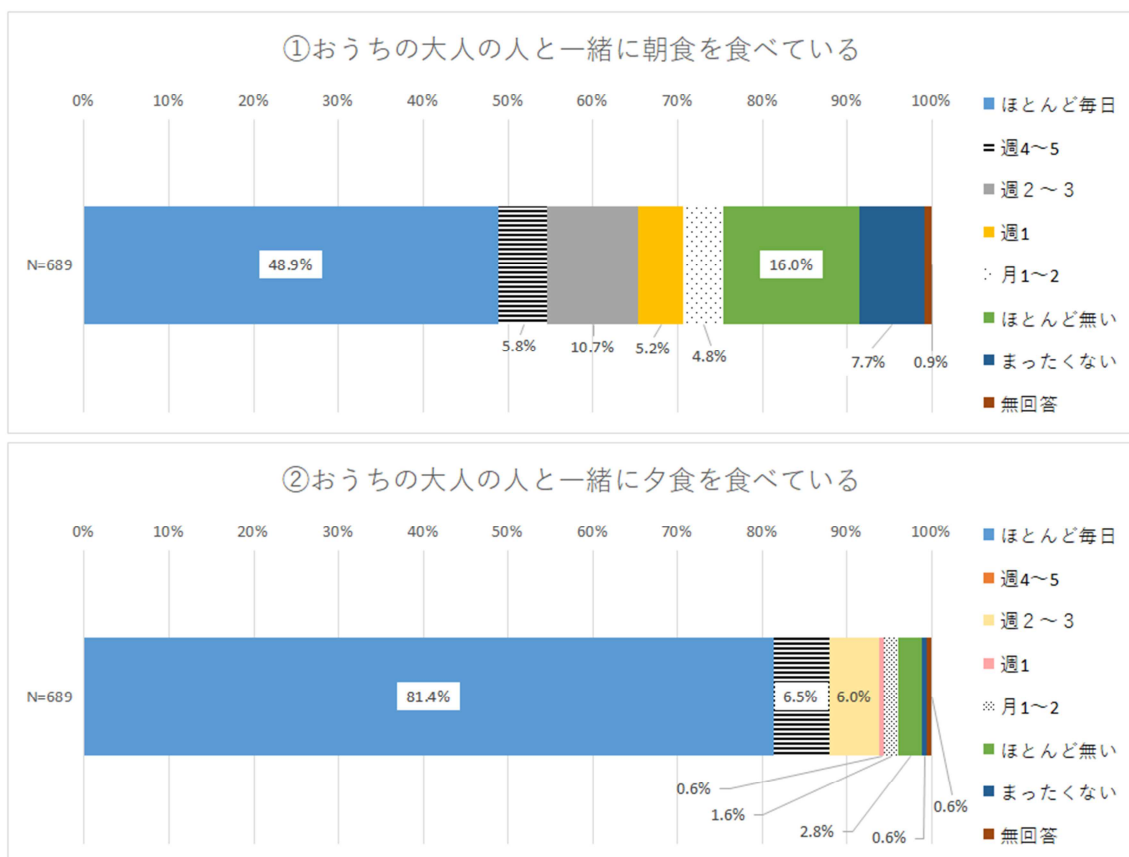
笑って行ける学校

生活の満足度について

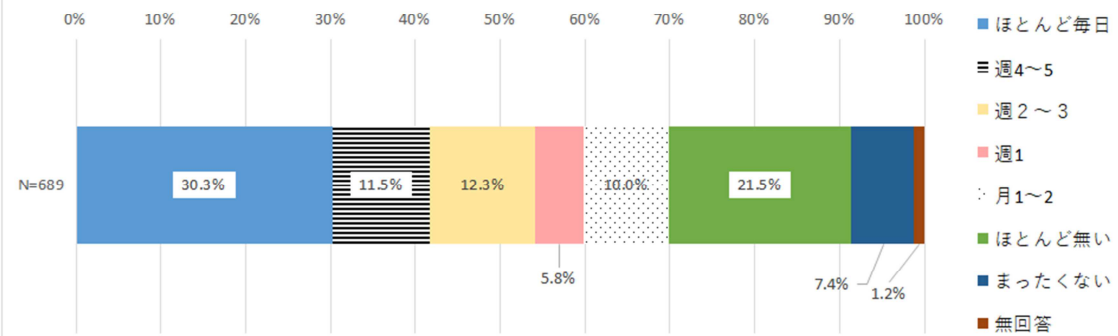
あなたは、次のようなことをどのくらいしていますか。(問10)

おうちの大人の人と一緒にすることとしては、「一緒に朝食を食べる」ことを「ほとんど毎日」と回答した割合が 48.9 なのに対し、「一緒に夕食を食べる」ことを「ほとんど毎日」と回答した割合は 81.4%となっています。

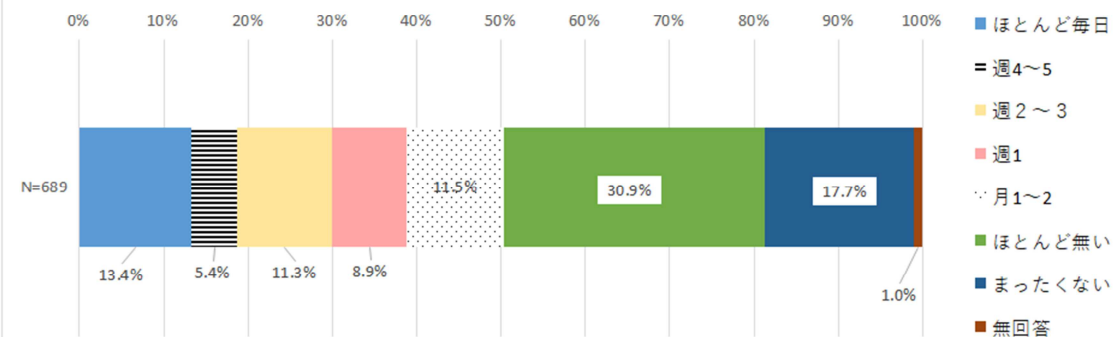
「悩みや出来事を話している」については、「ほとんど毎日」と回答した割合が 30.3%である一方で、「ほとんど無い」と回答した割合も 21.5%となっているほか、「勉強(宿題)を見てもらう」「遊んだり身体を動かす」については、週 1 回に満たない回答が全体の半数以上を占める結果となっています。



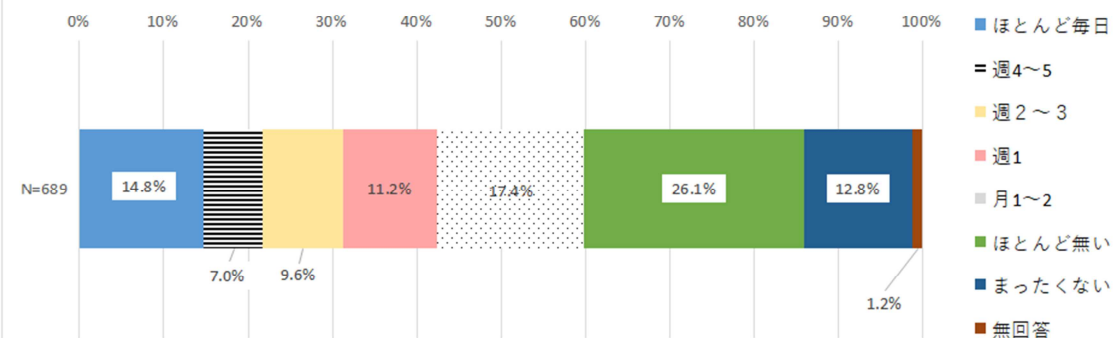
③おうちの大人の人に、悩みや出来事を話している



④おうちの大人の人に勉強（宿題）をみてもらう



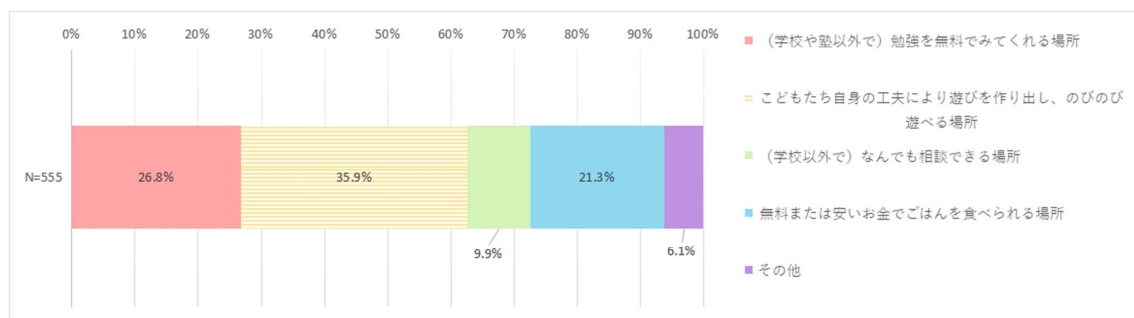
⑤おうちの大人の人と遊んだり、身体を動かす



※問 10 で、どれか 1 つでも「週に 1 回程度」「月に 1～2 回」「ほとんど無い」「まったく無い」を選んだ方にお聞きします。

あなたが「利用してみたい」と思う、以下の場所について、あてはまるものを全て選んでください。(問10-1)

利用したい場所について、「こどもたち自身の工夫により遊びを作り出し、のびのび遊べる場所」が 35.9%と最も高く、次いで「(学校や塾以外で)勉強を無料でみてくれる場所」が 26.8%、「無料または安いお金でごはんを食べられる場所」が 21.3%となっています。



「その他(自由記載)」の回答

新たな学校のような友達と遊んだり、門限関係なく息抜きできるような場所が欲しいと思います。

ゲームと一緒に遊んでくれる場所

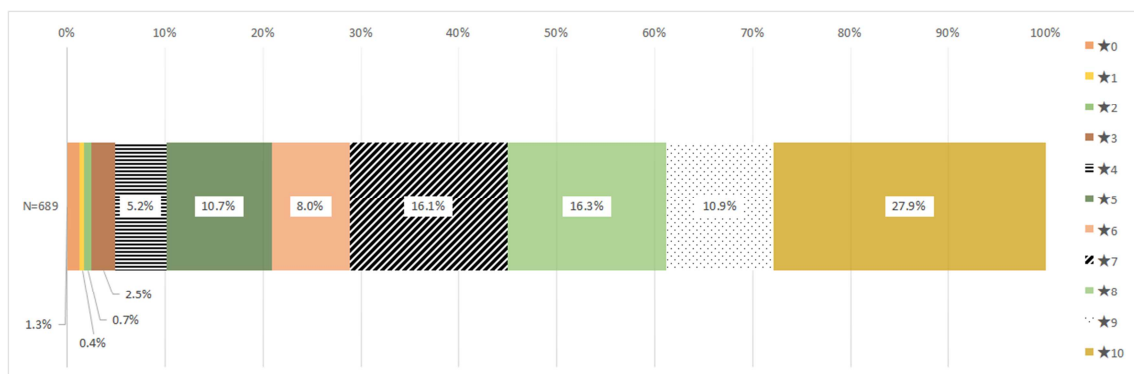
学校、家以外で友達と学習ができる場所

野球ができる場所が欲しい

こどもたちでいろんなスポーツとかを遊べる施設

全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」(まったく満足していない)から「10」(十分に満足している)の数字で答えてください。(問11)

全体的な生活の満足度については、「★10」が 27.9%で最も高いほか、「★6」以上を回答した人が全体の 79.1%と、高い割合となっています。

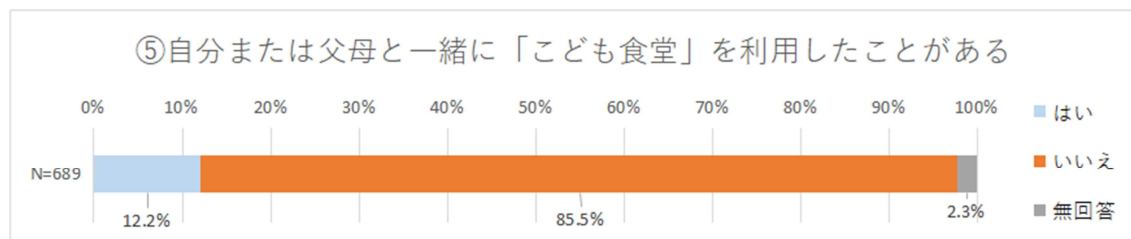
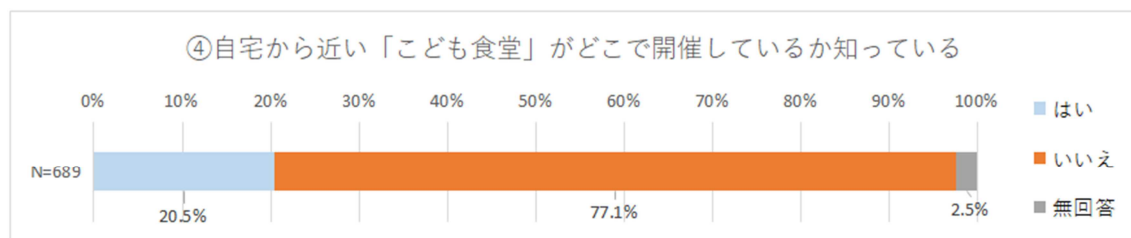
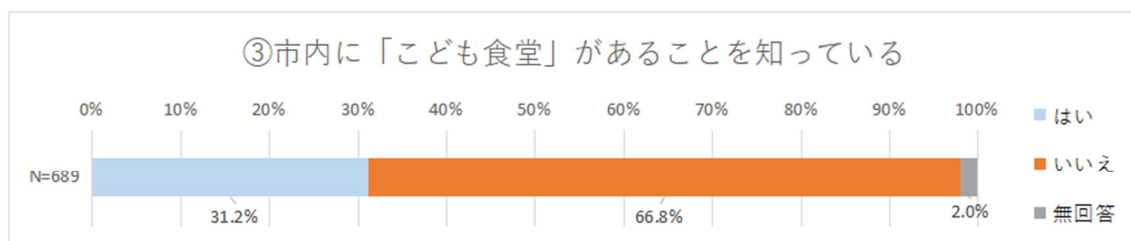
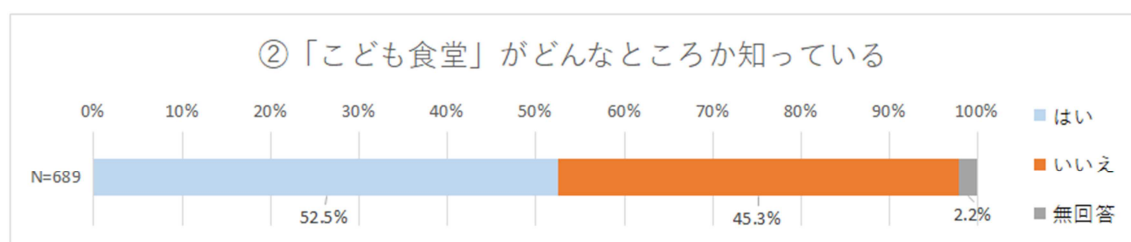
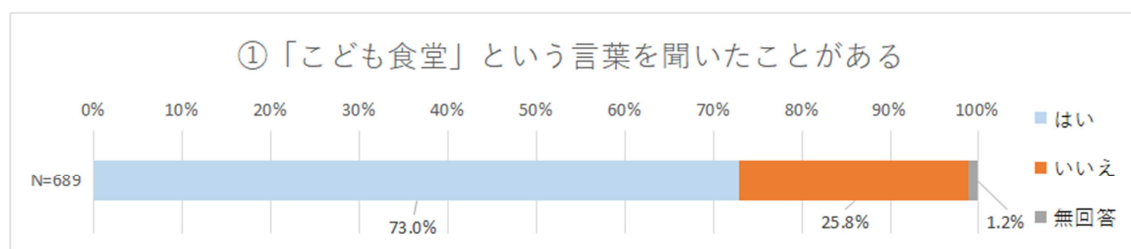


こどもの居場所について

こども食堂に関することについて(問 12)

こども食堂に関することについてみると、「①「こども食堂」という言葉を聞いたことがある。」
「②「こども食堂」がどんなところか知っている。」では半数以上が「はい」を回答しており、こどもたちにも認知されていることが分かります。

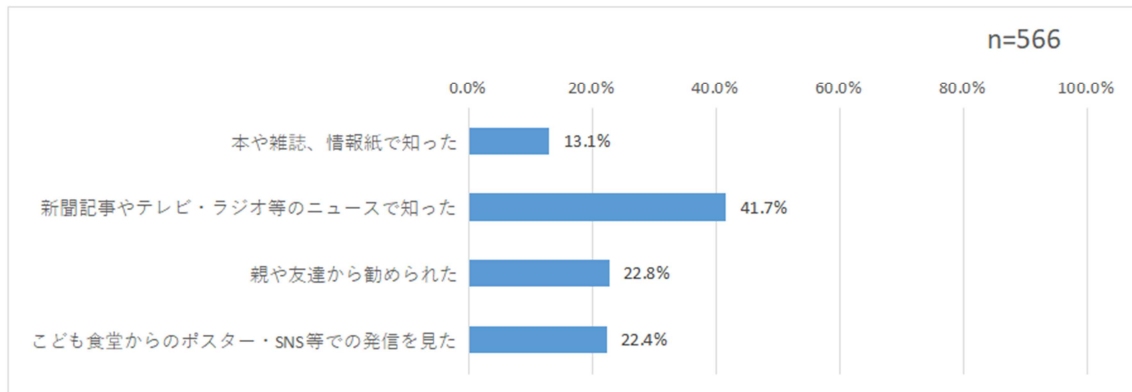
市内のこども食堂や、利用経験を問う③～⑤の設問では「いいえ」が半数以上を占めています。



問 12-1 問 12 で、どれか一つでも「1:はい」と回答した方にお聞きます。

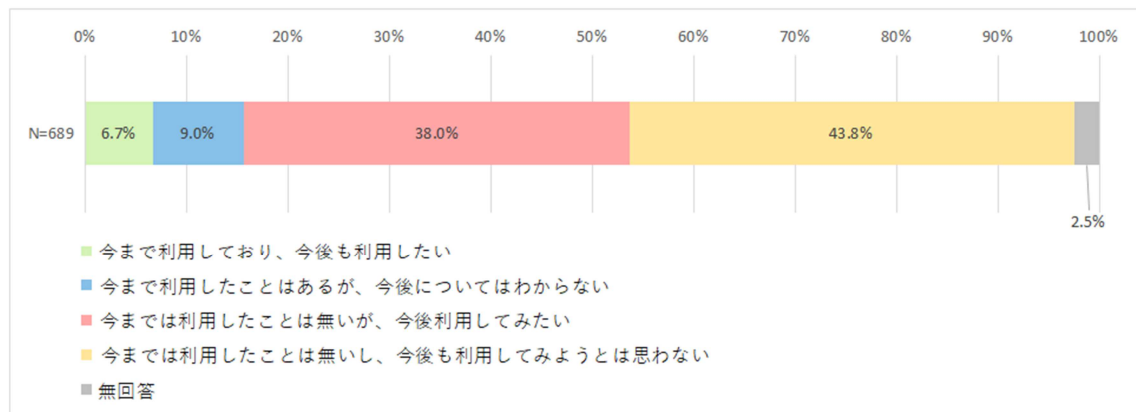
「こども食堂」の情報を、どのような手段で知ることができましたか。(問 12-1)

こども食堂を知る手段としては、「新聞記事やテレビ・ラジオ等のニュースで知った」が、最も多い回答となっています。



問 13 今後、自宅近く等の利用しやすい場所で「こども食堂」ができた場合、利用したいと思いますか。(問13)

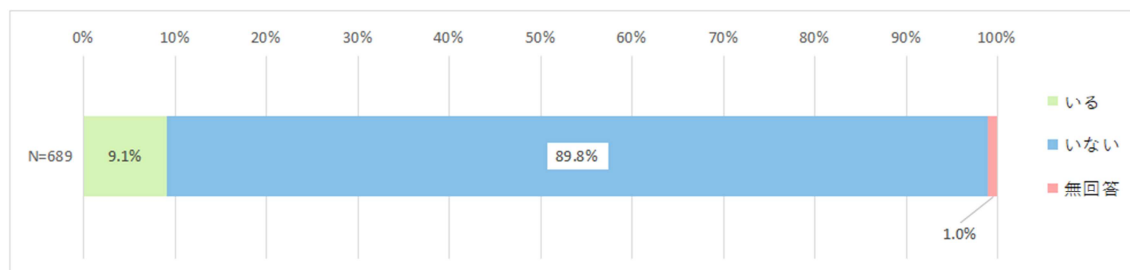
「今までは利用したことはない」回答が全体の 81.8%となっていますが、その中で「今後も利用したい」との回答が 38.0%となっており、今まで利用しているとの回答を含めた 44.7%が今後の利用について前向きに考えて居ることが分かります。



家族のお世話について

家族の中に高齢や病気、身体が不自由、幼い等の理由により、お世話が必要な人はいますか。(問 14)

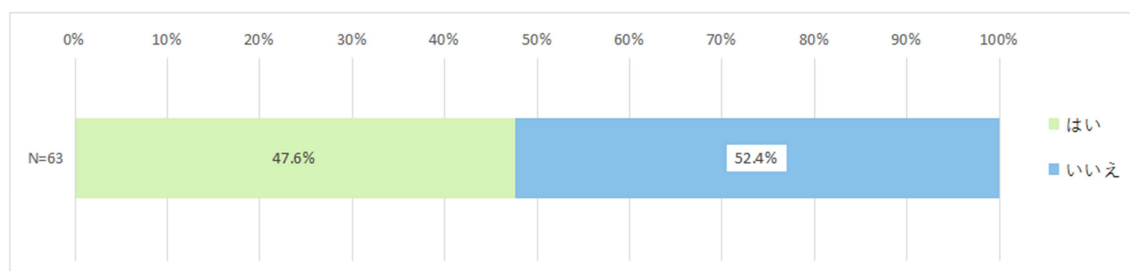
家族のお世話については、89.8%が「お世話が必要な人はいない」との回答をしています。



※問 14-1 問 14 で「いる」と回答した方にお聞きします。

お世話の一部もしくは全部について、あなた自身がお世話をすることはありますか。(問 14-1)

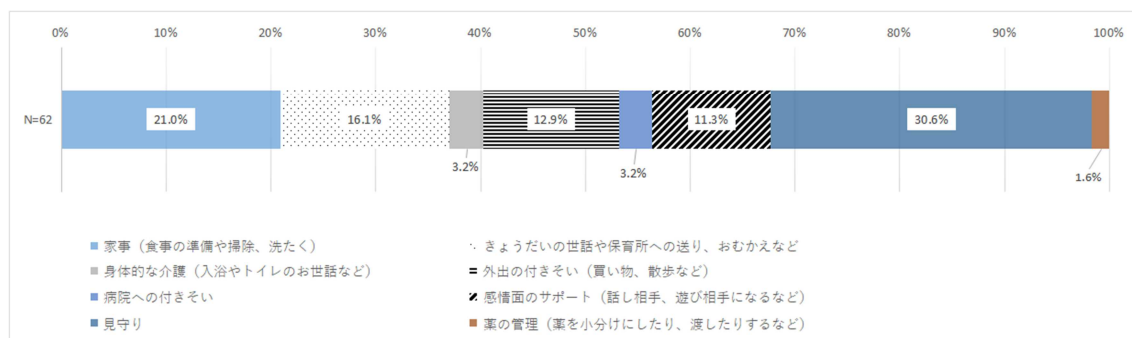
前問で「いる」と回答した中では、47.8%が「自身で世話をすることがある」と回答しています。



※問 14- 1 - 1 問 14-1 で「はい」と回答をした方にお聞きします。

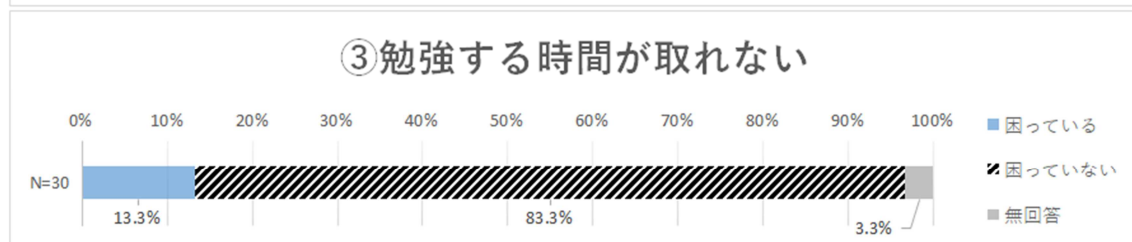
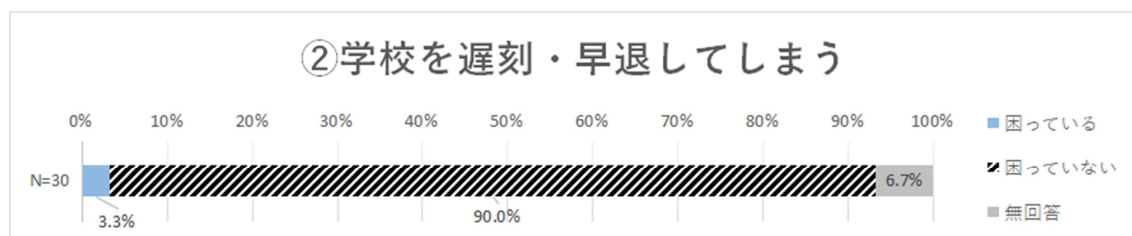
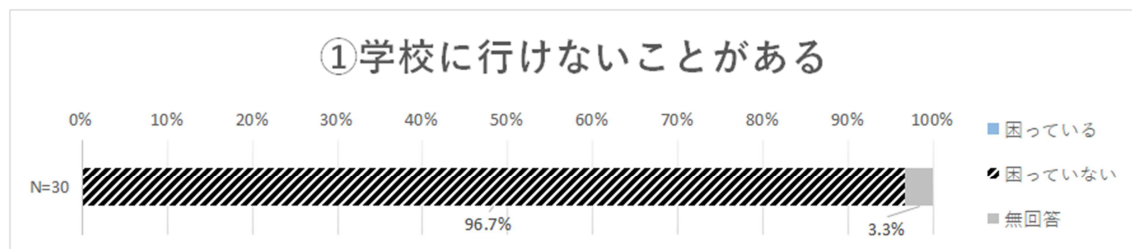
あなたがしているお世話の内容について(問 14-1-1)

お世話の内容については、「見守り」が 30.8%で最も多く、以下、「家事」が 21.0%、「きょうだいの世話や保育所への送り、おむかえなど」が 16.1%と続いています。

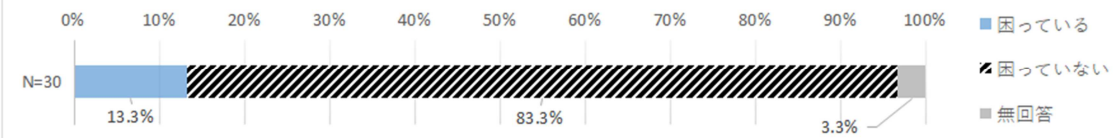


前問のことをすることで、あなたが困っていること、解決して欲しいことはありますか。(問 14-1-2)

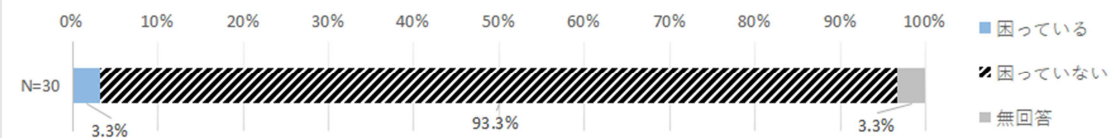
家族のお世話をすることでの困りごとについては、概ね「困っていない」の回答が多い傾向となっていますが、「勉強する時間がとれない」「十分に寝ることができない」「自由になる時間が取れない」「自由に過ごせる場所がない」「学校をどうしてもいいと思うことがある」では、「困っている」と回答した子が、一定数いることが分かります。



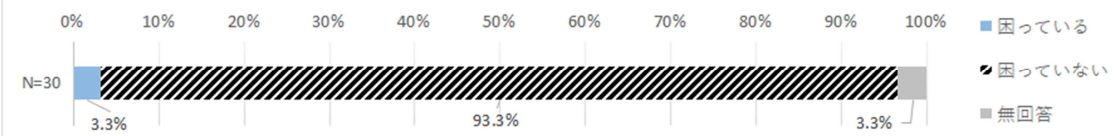
④十分に寝ることができない



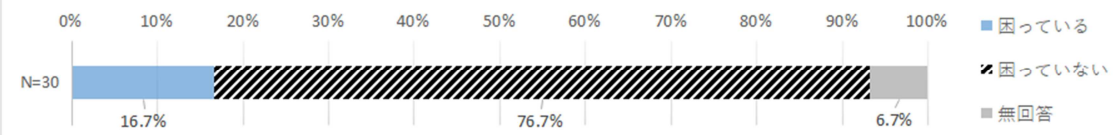
⑤友人と遊べないことがある



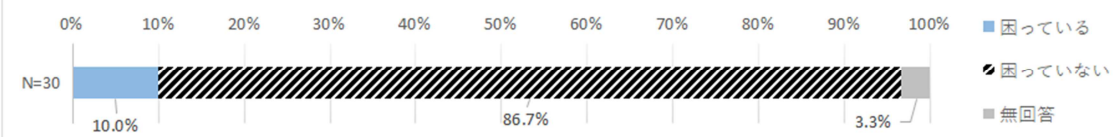
⑥部活や習い事が思うようにできない



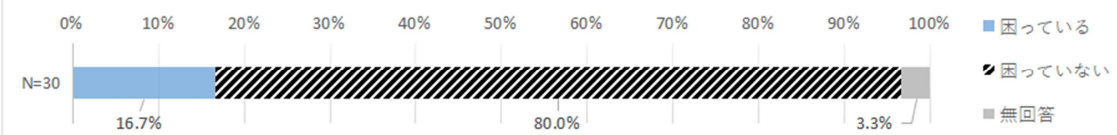
⑦自分の自由になる時間が取れない



⑧自分が自由に過ごせる場所がない

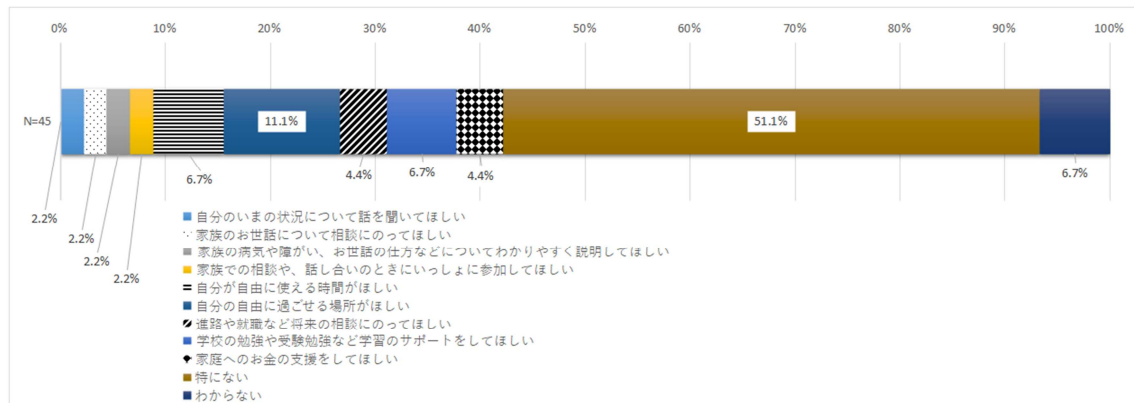


⑨学校のことをどうでもいいと思うことがある



あなたは、お世話をしていることに関して、学校の先生や周りの大人にしてほしいこと(助けてほしいこと)はありますか。(問 14-1-3)

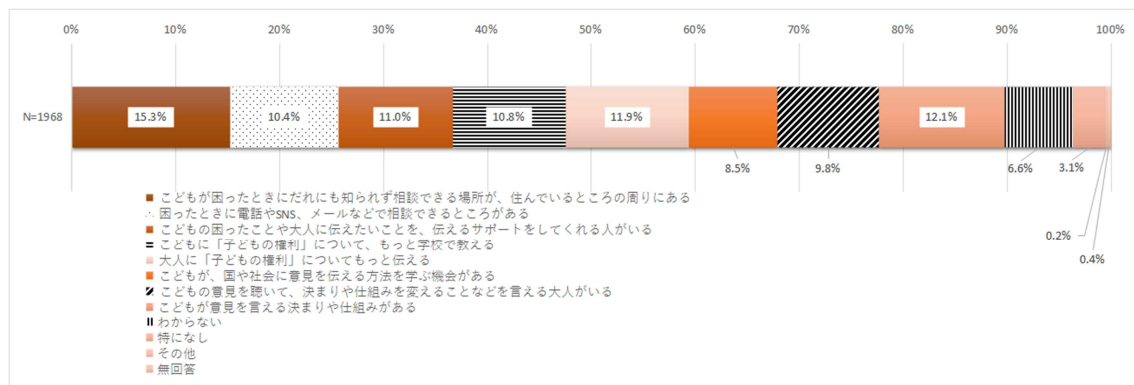
お世話に関して周囲の大人に助けて欲しいこととしては、半数が「特にない」と回答していますが、「自分の自由に過ごせる時間が欲しい」(11.1%)、「自分が自由に使える時間がほしい」(6.7%)、「学校の勉強や受験勉強など学習のサポートをしてほしい」(6.7%)等、一定のニーズがあることが分かります。



「子どもの権利」について

あなたは、「子どもの権利」を守るために、どんな仕組みがあるとよいと思いますか。
(問 15)

「子どもの権利」を守るための仕組みについては、「こどもが困ったときにだれにも知られず相談できる場所が、住んでいるところの周りにある」(15.1%)のほか、多くの選択肢が10%前後の回答率となっています。



「その他(自由記載)」の回答

思い切り遊べる公園※近所からのクレームをおそれる必要がない近隣理解、自由に子供だけで買い物ができそれを地域で見守る姿勢と環境と仕組み、子供だけで映画や交通機関を安全に利用してさまざまな経験を積めるシステム、学校に責任を負わせるのではなく家庭で責任をとる仕組みが必要

子供だからといって偏見を持たない社会

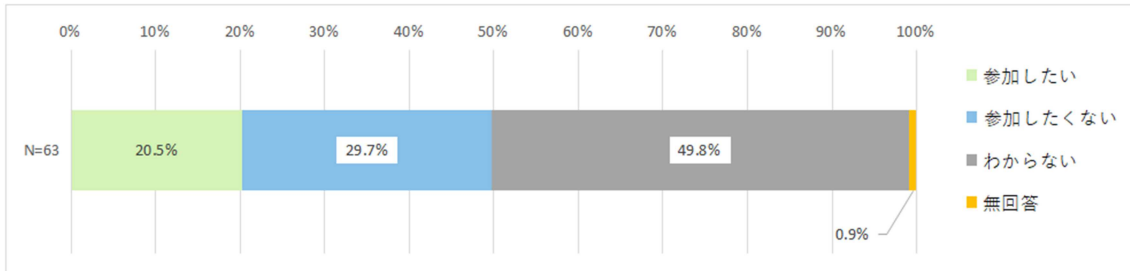
政治などでも子供に関係することは子供にもアンケートを取るべき

あなたは自分の意見を言ったり、いろんな機会に参加する権利を持っています。

市では、あなたが市へ意見を伝えたり、実現に向けて一緒に取り組む機会を増やしたいと考えています。

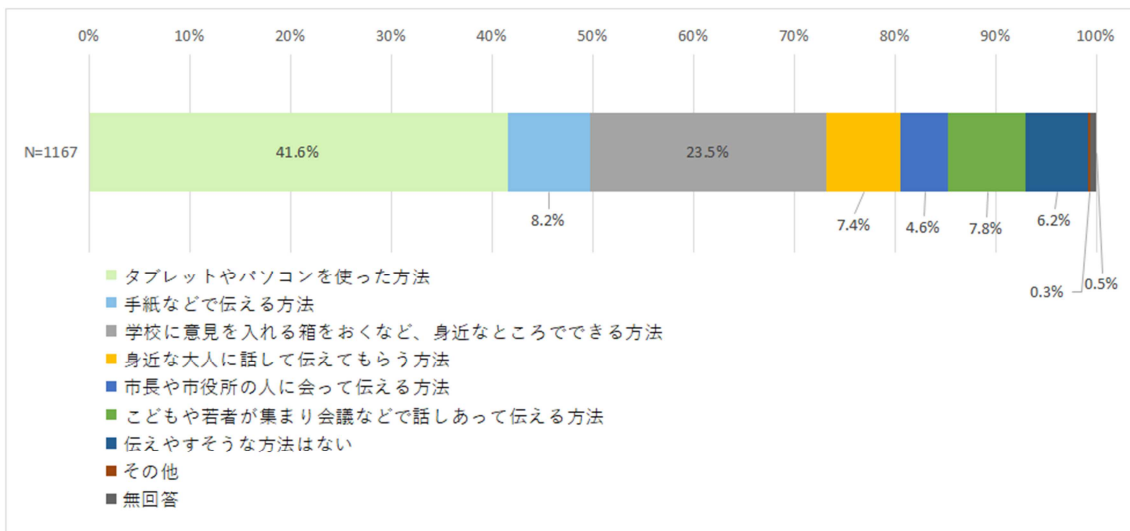
今後、そのような機会があれば、参加したいと思いますか。(問 16)

こどもが意見を表明するための機会への参加については、「参加したい」が 20.5%、「参加したくない」が 29.7%という結果になっています。



どんな方法や手段があれば、あなたは市に意見を伝えやすいですか。(問17)

こどもが意見を伝える手段としては、「タブレットやパソコンを使った方法」が 41.6%で最も高く、次に「意見を入れる箱をおくなど、身近なところでできる方法」が 23.5%となっています。



その他（自由記載）

市長や市役所の人に会ってプレゼンする。

これから先、こどもや若者にとって「こんな市になったらいいな」「こんな街にしたいな」「市にこんな場所があったらいいな」など、市に求めることや期待することについて、あなたの意見や願いがあれば、自由に入力してください。(問18)

【屋内外の施設・居場所について】

- ◎子供同士で遊べる施設があったり、街にもっと花壇がたくさんあったらいいと思います。
- ◎室蘭にある、きらんのような場所があったら行きたいと思っています。
- ◎放課後デイサービス、運動、いろいろな障がいに対応できる児童館。
- ◎若者が集える場所があればいいと思います。例として、以前 TSUTAYA がありましたがそのような若者の興味も引き、年齢層に偏りが生まれすぎないような建物が今はありません。
そして、最近では隣の市室蘭の都市開発が進み食料品店ができたりと若者に向けた店舗が多々見られます。簡単に真似ることは出来ないとは思いますがそのような隣の市の仕様を真似ることも視野に入れ、高齢者社会のことだけを考えるのではなく若者、若年層も視野に入れてみることも良いと思います。
- ◎家の近くにみんなが集まれる大きな公園があれば子ども達が困った時などにその公園に行って気を紛らしたり出来ると思います。いやなことがあった時に逃げこめて安心できる家があったらいやなことがあった人は、助かると思います。
- ◎屋内で遊べるところがあったらいい たとえば科学館とか室蘭のきらんみたいなところ。
- ◎児童館にバドミントンとかバスケができる体育館。
- ◎富岸公園みたいに他の公園にもバスケゴールがあったらいい。
- ◎個々のスペースが、仕切られて勉強ができる場所が有る図書館がほしい。
- ◎もう少し、市に日用品がなるべく安く買えるうなお店が増えて欲しいと思います。そして、子供達のお留守番時間を減らすために遊んだりご飯を食べれるところや、お泊まり出来る日がある施設があるといいなと思います。その施設には、小学校高学年からその施設でお手伝いをしたり面倒をみたりできるといいなと思います。こう思ったのは、小学生が暇な人が多く、遊んではばかりだからです。もちろん遊びは必要だしなくすのはおかしい話ですが、任意として募集してみると、多くの人がお手伝いに駆けつけると思います。子ども食堂とその施設をドッキングしてみるとよりいいかもしれません！
- ◎あまりサッカーなどのスポーツができる場所がないから、体育館やグラウンドがあれば嬉しい。
- ◎サッカー場(人工芝)を作ってほしい。この地域にサッカー場がないのはここだけ、スケートボードとかやってる人少ない、意味ないと思う、それなら絶対サッカー場作ったほうがいい、えんせいつか温泉に泊まってもらえる。
- ◎学校が無い休日などに、同級生が集まってみんなで勉強することができるようなところをつくってほしいです。
- ◎どんな天気でも気軽に遊べたり、無料とは言わないが安く食事ができるところを増やしたほうが良いと思う。理由は親などが仕事で遅くなる時、天気が悪くて体を動かして遊べない時などに、活躍するのではないかと思ったから。「例」1ヶ月に一回募金を希望して資金を集め、その集

まった資金でこういった場所を作るなど…。

【まち全体のことについて】

- ◎登別中の周りは、老人ホームはいっぱいあるのに、子供が遊べるところが何もない。グラウンドだって雑草まみれで、ゴールもボロいし、公園だってたいしたいいものもない。サッカーだってもっとちゃんとしたいしバスケもしたいけどできない。もっと将来有望な子供達のための遊べる施設を作って欲しい。例えばバスケコート、サッカー場他にもラウンドワンみたいな場所もあっていいと思う。本当に今のままじゃ全くダメだと思うから、このような子供達が楽しく遊べる施設を作って欲しい。公園も小さいのが二つ。小学生が遊んでいると、僕らが遊べる場所はグラウンドしかない。小学校のグラウンドの方が100倍遊びやすいのに、出禁にされた。だからただでさえクラスの人数が少ないのに他の学年とも一緒に遊べない。仲の良かった小学生の年下の子達とも遊べない。はっきり言って、ここがいい街とは到底思えない。子供達が伸び伸びと遊べる場所がほしい。老人に優しくて子供に優しくない町。
- ◎最近の登別市は人が入ってくることがあまりなく逆にどんどん人が出ていってる状況にある。温泉という特色はあるが人を呼び込むには弱いし、温泉が理由で引っ越してくる人はいないと思う。だから登別ならではの魅力のあるものを増やしたり若者が興味が持てる活動や支援を増やした方がいいと思う。特に次世代を担う若者たちへの支援が弱いし子育てをしている家族たちへの支援を増やして欲しい。また登別は消滅可能性自治体とされているからそういうことも考えてどうにかした方がいいと思う。正直登別のいい所が温泉以外思い当たらない。田舎すぎる。
- ◎人口などが増えて元気で盛んな街にしたいです。また、みんなが楽しめるような活動のできる場所がある街にしたいです。
- ◎温泉などは、どちらかというとニーズが観光客向けになっていて、将来登別に来なくなることがあることが予測されるため、市内で市民が楽しく参加できるものを企画、運営し、観光客だけでなく、市民からも誇れる街にしていってほしいと思う。
- ◎全体的に商店と娯楽施設の増加を願います。またガソリンスタンド、休憩所、お土産の売店所などを増やして観光客を増やし、もっと他県の人や外国の人を見たいです。
- ◎障害者も住みやすい街 協力し合う街にしたい 差別などなく平等な街にしたい
- ◎他の街には、道の駅があるのにのぼりベつにないから人が来ないと思う。だから作ったほうがいいと思う。
- ◎選挙では、若い人が投票しないので 高齢の方達が優先されてるので 若い方達にも対応してくれる市になって欲しい。今は高齢者の方優先にしかなくてないからそこが不満かなとおもってます。
- ◎登別は登別温泉などの大きな観光地もありクマ牧場の宣伝をテレビでやったり、ヌブルなどの民族空間などの施設を作ったりしてだんだん登別にも活気が出てきていると思います。ただ、そのような場所があるだけで、他の住宅街などの道路の舗装や市内の清掃などがすこし怠っていると思います。例えば、舗装をするなら函館の元町の道のようにコンクリ、アスファルトだ

けでなくきれいなタイルを貼り付けたりするともっと登別に清潔感が出ると思います。けれど、タイルを貼っつけるのは市に余裕ができてからでいいです。とりあえず、コンクリの道ががたがたになっていたり穴が空いていたりすることがあるのでそこをまずは直してほしいです。他にも、このようなアンケートを全面的に一気に行うのではなく常に市民のニーズを聞き出せる場所があるといいですね。それから、これは私のわがままですが、登別市内に大きな図書館を設置してほしいです。これもまた勝手ですが、幌別駅よりだと助かります。登別には明日中等教育学校があり、様々な市内から通っている人がいます。だから電車通学の人もいたり、バス通学の人もあります。その電車やバスを待つ時間にほんのちょこっと1,2時間勉強したり、土日の部活のあとに寄るとかとても望ましいことです。室蘭にはキランという大きな図書館があります。登別にはないのでぜひ設置してほしいです。

- ◎中学生になった時に、バスを定期的に使うから、バスの便を増やして欲しいです
- ◎お金などの関係で争いが起きず、地球にやさしいSDGsなどの取り組みに力を入れる街
- ◎最近テレビで子供を持つ親の支援サービスがあるので、登別も支援サービスを強めたらいいと思う。支援金を多めに出したら人口も増えると思う。

【学校環境、いじめの無い街について】

- ◎いじめのない、バリアフリー対応、避難場所(耐震、耐水、耐風、耐火、耐寒、耐水圧、水浮)でもある、避雷針のある学校(中身は、普通の学校)。
- ◎みんながいじめなど辛いことをしないでみんなが幸せでいて欲しいと言うことが私の願いです。理由は、私が一度いじめられたことがあって、辛かったことがありました。私は、辛かったからいじめる人は、自分がもしいじめられたら私と同じ気持ちだと思います。だからいじめのない町作りを目指して欲しいです。
- ◎教師から〇〇(自分の名前)ならできる！〇〇なら大丈夫でしょとか決めつけないでもう少し生徒に気配りできるような学校にしてほしい。
- ◎冬とか寒すぎて勉強できないし、今あるスポットクーラーもあんまり涼しくないし、授業中は止められちゃって暑いからなんとかしてほしいです。
- ◎もっといろんな市内の学校と交流できる機会があったらいいなと思う
- ◎リモートで授業に参加しやすくパソコンなどをもっと使っているような学校とも交流したい。

【治安・環境改善について】

- ◎廃棄が少なく衛生的な若者の町 ゴミ箱を色んなところに置いて欲しい。
- ◎犯罪のない市。
- ◎川や道路に、ゴミを捨てない、事故のない事件が少ない幸せなところになりたいです。
- ◎最近は減ってきたけど、野良の動物がいて可愛そうだし、住人や民家を襲う可能性もあれば、畑を荒らし、街に出て事故を起こす可能性もある。そのため、野生の動物は保護し、病気を治

療し、里親を探す又はペットショップで販売するなどの活動があれば良いと思う。なおかつボランティア活動みたいなものを実施し、参加した子供や大人の人に、野生動物の危険性や理由を気づいてもらい、動物を捨てることの大変さを知ってもらいたい。

◎古くて使われていない建物を解体してほしい。

◎海岸や歩道にゴミが多く落ちていることがあるので、清掃活動の機会をもっと増やしてほしい。

【相談窓口について】

◎嫌なことがあったときに話しやすい施設があったらいい。

◎みんなが楽しく安心して過ごせるようにするためにインターネットでできるお悩み相談箱を作してほしい。

◎どんな相談にも乗ってくれる人がいるようになってほしい。

◎困っている人が気軽に相談ができるような場所 何でも、相談できる場所があると良いと思います。

◎子供が嫌なことがあったとき、子供相談窓口とかもう少し建てたらいいと思う。

◎いろいろなことを相談できたり、嫌な思いをしないような市や街がいい。

◎子供がなにかを相談するときに、市の建物の中で相談するし、顔見知りじゃない大人と話すから気軽に話せる場所とか緊張しないところがあったらいいな。

◎子供の声を聞く場所がない。子供だからこそ考えられることと大人だからこそ考えられることを、合わせるとよりよい街になると思う。